

令和8年 3月 11日(水) 中央学校給食センター

【献立名】 麦ごはん 牛乳 鶏肉の和風ソースかけ
小松菜のアーモンド和え ジャがいものみそ汁



【ひとメモ】

食べ物を大切にしよう

(感謝の心)

15年前の2011年3月11日、東日本大震災が起こり、多くの人の尊い命が奪われました。

津波がおそった沿岸部、そして内陸部にも大きな被害がありました。震災直後は、地震と停電で工場を動かすことができなくなり、道路も壊れて、食材を必要としている人たちのところまで運ぶことができなくなりました。

それでも、子どもたちが給食を食べられるように、たくさんの人たちが食材集めにかけ回り、各地から被災地へ物資が贈られてきました。しばらくして給食が再開されるとテレビのニュースでその様子が報道されました。

わたしたちが給食を食べられるのは、生産者や食材を運ぶ人、調理をする人、そして動物や植物の命があるからです。みなさんの健康や成長を願い、食事を支えてくれるたくさんの人たちの思いや食べ物の命があることを忘れずに、残さずいただきましょう。

令和8年 3月 11日(水) 第二学校給食センター

(献立名) 肉もっそ 牛乳 白身魚の香味揚げ
小松菜のごまドレッシングあえ ふしめん汁



【ひとロメモ】

感謝して食事をしよう

(食文化)

15年前の2011年3月11日、東日本大震災が起こり、多くの人の尊い命が奪われました。

能登半島地震から2年2か月が経ちましたが、大きな被害から復旧には時間がかかっています。

わたしたちが、温かい料理や栄養バランスの整った食事を食べることができるのは当たり前ではないですね。

食事を支えてくれる多くの人や動植物の命に感謝していただきましょう。

令和 8年 3月 11日 (水)

飯山学校給食センター

【献立名】

麦ごはん 牛乳 鶏肉の和風ソースかけ
小松菜のアーモンドあえ じゃがいものみそ汁

《今日の丸亀産の食材》

葉ねぎ 小松菜 キャベツ にんに



【ひとロメモ】

食べ物を大切にしよう

(感謝の心)

15年前の2011年3月11日、東日本大震災が起こり、たくさんの人の大切な命が失われました。今も、悲しい気持ちやつらい思いを抱えている人がいます。

津波におそわれた海の近くの地域だけでなく、内陸の地域にも大きな被害がありました。震災直後は、地震や停電の影響で工場を動かすことができなくなり、道路も壊れてしまったため、食材を運ぶことができませんでした。そのため、震災から2か月たっても、パン1個と牛乳だけの給食が続いた学校もあったそうです。

わたしたちがこうして毎日給食を食べられるのは、食べ物を育ててくれる人や運ぶ人、献立を考える人、作ってくれる人など、たくさんの人の支えがあるからです。そして、動物や植物の大切な命をいただいているからこそ、今の給食があります。たくさんの人やいただく命に感謝して、食べましょう。